

令和 4 年 10 月 5 日

行政政策学類の学生が標語・デザインを提案 「エシカル消費」ポスターが県内約 1000 店舗に掲示されます

行政政策学類 スタートアップセミナー（中里クラス）では、今年福島県消費生活課からの依頼を受け、福島県の重点化事業「地球にやさしい消費推進事業」の一環で「エシカル消費」ポスターの制作に協力し、このたびポスターが完成しました。

ポスターは 10 月の食品ロス削減月間にあわせて、県内の主要スーパーやコンビニなど約 1000 店舗で掲示される予定です。

福島県では令和 4 年度から重点化事業のひとつとして「地球にやさしい消費推進事業」を行っています。これは、持続可能な社会の実現 (SDGs の目標達成) につながるエシカル消費や食品ロス削減を消費者が自分ごととして捉え、日々の買い物の中で実践する機運を醸成する取り組みです。この過程で、福島県消費生活課から大学生の意見を取り入れた「エシカル消費」ポスターの制作を依頼され、2022 行政政策学類スタートアップセミナー中里クラスでは、大学における学びの実践のひとつとして消費生活分野における学習を行いました。

学生たちは、まず専門家からのエシカル消費講座を受け、ポスター原案の提供を受けたうえで、どのような視点で誰に対して何を伝えるべきかという観点でポスターデザイン案や標語の提案を行いました。完成したポスターには学生のアイデアが随所に生かされています。10 月の食品ロス削減月間にあわせて、県内の主要スーパーやディスカウントストア、コンビニエンスストア等約 1000 店舗に掲示される予定ですので、お買い回りの際に気に留めてご覧ください。

（お問い合わせ先）

行政政策学類・准教授 中里 真

電話：024-548-8326

メール：nakazato@ads.fukushima-u.ac.jp



Environment
環境

食品ロスを削減する

冷蔵庫の中を確認してから
食材を購入し、使い切る。
すぐに食べる食材を購入する際は、
商品棚の手前から取る。



Area
地域

被災地や地元の産品を購入する

被災地の特産品を消費することで経済復興を応援する。
地産地消によって地域の活性化と輸送エネルギーを削減する。

あなたができること エシカル消費



Society
社会

寄付付きの商品や フェアトレード 商品を選ぶ

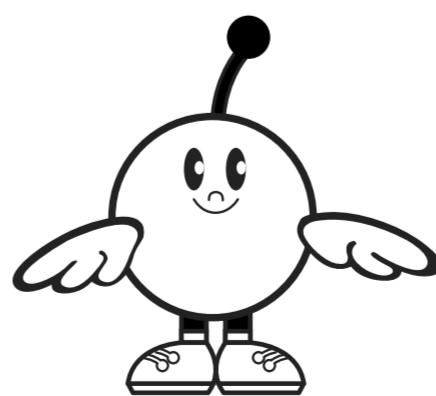
売上金の一部が寄付に繋がる。
発展途上国の原料や製品を適正な
価格で継続的に取引された商品を選ぶ。



Human
人

障がいがある人の 支援につながる商品を選ぶ

働きたい障がいのある人を
支援している事業者の商品を購入する。



キビタン©福島県

福島県

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。